

令和2年度決算一般会計



令和2年度の一般会計(※1)決算

は、歳入が309億5,245万5千円、歳出が300億4,361万5千円となりました。歳入歳出差引残額は9億8,841万円となり、翌年度に繰り越した事業の財源64億6,228千円を除いた、8億4,421万2千円が実質収支額(※2)となります。

△この記事内の表やグラフにおいては、数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しないことがあります。

歳入 総額は45・6億円増

市税は10年連続の増

人口増に伴う納税義務者の増加や、家屋の新築などによる固定資産税の増加などにより、市税が約8千万円増加し、10年連続の増となりました。

国庫支出金が増、市債は減

特別定額給付金給付事業や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策などにより、国庫支出金が約77億2千万円増加しました。一方で、吉川中学校建設、小中学校の空調整備および第二保育所再整備の完了に伴い市債が約31億4千万円減少しました。

歳出 総額は42・5億円増

特別定額給付金給付事業の増

特別定額給付金給付事業により総務費が約72億3千万円の増となりました。また、吉川中学校の校舎建設や小中学校の空調整備の完了に伴い教育費が約35億円の減となりました。民生費は12年連続の増

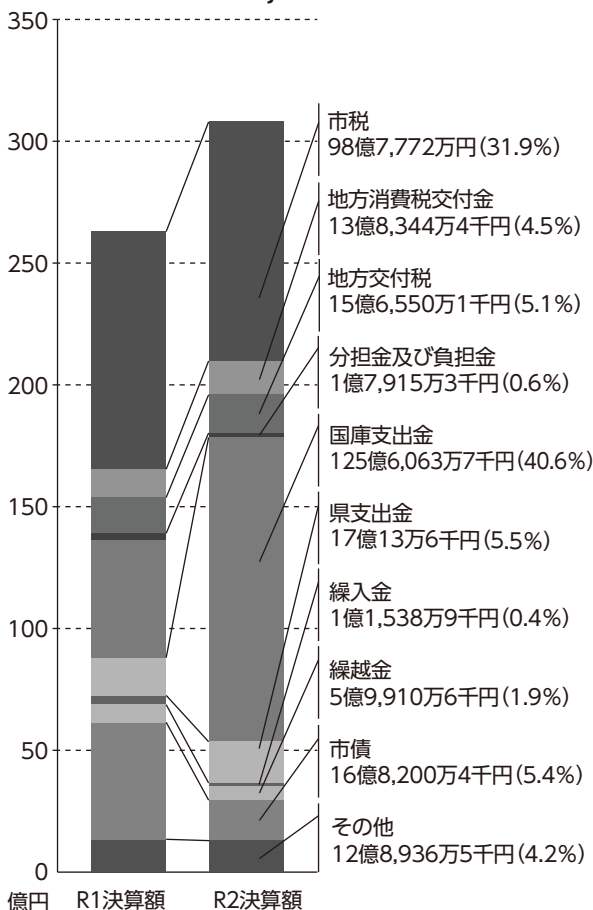
歳出で最も多くを占めたのは、保育に係る費用や生活保護などの社会保障費に関する民生費で、101億2,290万4千円(総額の33・7パーセント)となり、12年連続の増加となりました。

市民1人当たりで見ると

- 1人当たりの市税
13万4,910円
(前年度比787円増)
- 1人当たりに使われたお金
※一般会計のみ
41万337円
(前年度比5万7,016円増)

※令和3年4月1日現在の人口73,217人で算出しました。

歳入309億5,245万5千円



市税収入の内訳

| 税目 | 令和2年度 | 構成割合 | 対前年度比 |
|-----------|-------------|------|------------|
| 個人市民税 | 44億970万6千円 | 45% | 6,763万2千円 |
| 法人市民税 | 3億9,514万2千円 | 4% | ▲5,360万8千円 |
| 固定資産税 | 39億8,977万円 | 40% | 5,865万4千円 |
| 軽自動車税 | 1億3,027万2千円 | 1% | 835万円 |
| たばこ税 | 4億6,394万6千円 | 5% | ▲63万円 |
| 都市計画税(※3) | 4億8,888万3千円 | 5% | 442万4千円 |
| 合計 | 98億7,772万円 | 100% | 8,482万2千円 |

都市計画税を活用した事業は、以下のとおりです。

| 都市計画税を活用した事業 | 充当額 |
|--|-------------|
| 吉川中央土地区画整理促進事業、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計繰出事業 | 5,155万6千円 |
| 越谷吉川線街路整備事業、三郷流山線街路整備事業 | 1,827万8千円 |
| 下水道事業会計負担金、下水道事業会計出資金 | 3億186万2千円 |
| 都市計画事業に係る地方債負担金 | 1億1,718万7千円 |

用語解説

- ※1 一般会計 教育や福祉、道路整備などの行政の基本的な会計。一般会計の他、特定の事業のための特別会計がある。
- ※2 実質収支額 年間歳入歳出差引残額から翌年度の事業の財源を差し引いた額。実質的な黒字・赤字を示す額。
- ※3 都市計画税 道路、下水道、公園整備などのような、都市計画事業に必要な費用に充てるための目的税。